

「よく考え、やりぬく子ども」を育てる1年に

本校校長の大谷憲司と申します。着任3年目となりました。皆様どうぞよろしくお願いたします。

教育目標は今年度も変わりません。「よく考え、やりぬく子ども」「やさしく思いやりのある子ども」「明るく元気な子ども」の3つです。そして、今年度も「よく考え、やりぬく子ども」に重点を置いて、教育活動を進めていきます。

昨年告示された新しい学習指導要領には、各学校で児童に育成すべき資質・能力を明確にすることが示されています。そこで本校では昨年度から「よく考え、やりぬく」ために必要な力として「協働問題解決力」に着目し、学校全体で児童に育てる資質・能力の柱にしてきました。今年度も継続していきたいと思います。

本校では協働問題解決力を、「どのような問題に直面しても自分一人ではなく他者と協働して知恵を出し合い、主体的に問題を解決できる力」ととらえています。これは、変化が激しく予測困難な未来社会を見据える時、これからの人間に必要な不可欠な力だと考えます。

また、この協働問題解決力は次の4つの力をベースにして育つと考えています。

○基礎的な力（読む、書く、話す、聞くなどの言語や計算などの習得）

○他者と共に考える力（他者と一緒に考える方法などの習得）

○他者と共生できる力（他者を思いやり、良好な人間関係をつくることなどの習得）

○社会の中で実践する力（学んだことを学校外でも生かして進んで社会に関わろうとする意欲）

本校では、これらの力を、教育活動全般を通して、意図的・計画的に育てていきます。

何よりも大切なのは日々の授業です。今年度は特に算数の授業を充実させていきます。昨年度までの3～6年生の少人数指導に加え、あらたに2年生でも講師を配置し、担任と共にきめ細かい指導が行えるようにします。教員の校内研究も算数を中心に行い、計算など基礎的な力を付けさせるとともに、授業中に教師と子どもたちが協働で解決方法を話し合う場面を意図的に作り、子どもたちに主体的に問題を解決できる力を身に付けさせるようにします。また、外国語活動も充実させます。3～6年生では授業時数を昨年度よりも増やし、外国語に親しみコミュニケーションのできる子どもを育てていきます。

さらに今年度より特別支援教室「きらり」を開設し（5月頃から実施）、基礎的な力やコミュニケーションの力の向上など、一人一人の子どもに応じたきめ細かい支援の体制を充実させます。

また、本校の特色である「学校支援本部」を中心とした様々な関係者の方との連携による教育活動もより一層充実させていきます。子どもたちの読み書きの力を高めるために、昨年度に引き続き東京学芸大学、都立清瀬特別支援学校の専門家の方にご助言をいただき、2年生を中心に読み書きの力を向上させるプロジェクトを実施します。また、公益財団法人東京応化科学技術振興財団様から助成をいただき、清瀬第六小、清瀬第七小と連携して、科学教室など子どもたちが科学への関心を高める事業を行います。さらに、サマースクール、サタデーサークル、わいわい広場など、授業以外の活動にも地域や外部の方に積極的にご参加をいただき、子どもたちの可能性をさらに伸ばす活動を充実させ、学んだことを社会の中で実践しようとする力を育てていきます。

今年度も三小のよさを継承し、さらに充実した教育活動が展開できるよう、本校の教職員一同、誠心誠意頑張っております。保護者・地域・関係各位の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

